


●ガバナー 成田 秀治 ●会長 西尾 和樹 ●幹事 慶徳 拓也 ●コミュニケーション委員長 吉田 立盛

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

 Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2020/

第 2202 回 例会 記録

《ロータリー財団委員会担当例会》

2022 年 2 月 24 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1634

四つの反省

- 1) 真実だったか どうか
- 2) みんなに公平だったか
- 3) 好意と友情を深めたか
- 4) みんなのためになったか どうか



出貝職業奉仕副委員長

《会長要件》西尾会長



みなさん、こんにちは。

お久しぶりです。2 月も最終週の例会です。1 か月ぶりの例会となりました。この休みの期間は長かったですね。毎週のように、例会場で集まることが習慣になっていると、この会えない期間がとても長く感じてしまいます。

ロータリークラブは毎週集まって、顔を合わせ、親睦を深める。この大切さを今回改めて感じました。今後、短縮例会というかたちになっても例会の場を継続して開催していきたいと思っています。クラブとして、大人数を集めて、なにかするというのが難しい状況かもしれませんが、少人数でゴルフをしたり、食事をしたり、ぜひ、これまで同様、親睦・友情を深める機会を作っていただきたいと思います。

今日は、月 1 回の例会で、時間短縮例会でもありますので、ひとつだけ簡単にご紹介いたします。スクリーンに画像を映します。第 2830 地区ウェブサイトに掲載されております、ガバナー月信 2 月号に先日クラブにお越しいただいた地区クラブ拡大・会員増強委員会の今委員長の報告が載っております。集合写真も掲載されています。ぜひ、ご一読いただきたいと思います。



《本人誕生日》赤穂会員



年は大体わかると思います、18 年生まれ、同期は石橋会員、松田会員、村上さん、音喜多さん、三浦さんです。この頃暇になったのでお茶を飲みに出かけ、この間、村上さんと

三浦さんの所へ行ってお茶をごちそうになってきました。皆さんお元気で、一番元気なのは音喜多さん、

《出席報告》中村委員長



正会員数 31 名。本日の出席は免除会員 7 名を含む 22 名。出席率は 75.9% です。

晩酌は生ビール 2 杯やってから日本酒だそうでもまだまだ元気です。私のロータリーの入会は 1987 年で計算したら 35 年、そろそろやめてもいいのではないかと考えています。ロータリーに入って 1 番の印象は、不安で不安で例会に来たら渡邊先生が本当に丁寧に迎えてくれて声をかけてくれました。これが忘れられずここまで来ました。田村さんと慶徳さんのお父さん年度、田村会長慶徳幹事、本当に夜の例会が多かった、2 次会の幹事も決めていて 2 次会、3 次会、おかげさんで酒が強くなって今現在も晩酌は欠かさずやっています。そろそろと考えていますが、あとちょっとは席を置きたいと思っていますので、今後ともよろしくをお願いします。

《石橋会員》



赤穂さんと同じ年の石橋です、赤穂さんは最初に私がスポンサーになってくれた方です。長い間本当にご苦労様でした。(笑) 世阿弥の花伝書の中に「初心忘るべからず、時々初心忘るべからず、老後の初心忘るべからず」という言葉がありますが、75 くらいになってから「老後の初心」を忘れないように、年を取るたびに初心を変更しております。さすがに 80 に近くなりますと体が中々言うことを聞かなくなってきましたので、皆様にはご迷惑をかけないようにロータリークラブを堪能したいと思っています。今後ともよろしくお願いたします。

《伊藤会員》

見てもらって分かる通り少しやせました。全然言うことを聞かないからと、尾籠な話で恐縮ですが糖

分を尿に出す薬を処方されまして、11月から飲み始めて5キロ、6キロやせております。もうちょっとしたらあの写真にあったような若かりし頃の自分に戻れるかなど、無理でしょうけれどもそんな感じで頑張っています。これからもよろしくをお願いします。



《慶徳会員》



2月21日で大橋君と俳優の菅田将暉と一緒に一つ年をとりまして今年55になりました。一昔前であれば55才と言えば定年退職の年になるかと思えますけれども、まだまだセカンドライフを楽しめる余裕はございませんので、1年、1年楽しく過ごして行ければと思っています。ありがとうございました。

《中村会員》

あさって26日で40才になります。皆さんを見習って元気にやって行きたいなと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



《大橋会員》



37になりましたまだ厄年が続いています。37年前2800gだった私がこう成りました。順調に成長しております。ソロソロ成長を止めて、頭の方を成長したいと思しますので皆さまよろしくをお願いします。

《配偶者誕生日》



中村会員

《幹事報告》慶徳幹事

・理事会報告

○3月の予定、3月3日(木)規定審議・戦略計画委員会担当例会、3月17日(木)社会奉仕委員会担当例会になっていますが、この2回は時間短縮、弁当持ち帰り例会です。3月31日(木)早朝例会は予定通り開催予定です。

○4月のプログラム、4月7日(木)コミュニケーション委員会担当例会、4月14日(木)お花見例会、南宗寺さんを予定していましたがコロナの状況を鑑みて12時30分、パークホテルとしました。4月21日(木)創立記念例会、黒田会員の卓話を予定しています。4



月28日(木)祝日の週につき休会です。

○延期としていましたよろず相談を5月21日(土)に開催予定としました。

・メールアドレスを登録している方にはお知らせ済みですが、ヒューストンで行われる国際大会の案内が来ています。旅行会社のパンフレットもありますのでご覧になりたい方は事務局まで。

・ハイライト米山、ザ・ロータリアン英語版が届いています。

・八戸聖ウルスラ学院より卒業式は生徒、保護者、教職員のみで実施するというお知らせが来ています。

・例会変更のお知らせ、八戸東RC2月25日(金)例会取りやめ、メーカーはグランドホテルフロントで受け付けます。

《ニコニコボックス》米内副委員長

西尾会長：皆様、お久しぶりです。2月最終例会です。

慶徳幹事：長嶺さん、本日はよろしくお願いたします。

皆様お久しぶりです：石橋会員、赤穂会員、松田会員、中村会員

吉田賢治会員：長嶺さん、今日はよろしくお願いたします。

本人誕生日：石橋会員、赤穂会員、伊藤会員、慶徳会員、中村会員

配偶者誕生日：中村会員



《会員卓話》長嶺会員



今日はロータリー財団の担当例会ということで、吉田委員長から卓話をしてくれと頼まれたのでお話をさせていただきます。

日本には寄付の文化が育たないと言われていますが、今は「ふるさと納税」があるじゃないかという人がいるかも知れませんが、「ふるさと納税」はもともと地方の県知事が財政がひっ迫しているのを地方に寄付してもらえば、返礼品として地域の特産品をお礼として差し上げるというイメージで、地方のある知事が提案したのを菅前総理が総務大臣の時にその話を聞きつけて、地方の活性化のためには良い事だから「ふるさと納税」という形でやろうと菅さんが総務大臣の時に始めたシステムです。皆さんの中にも「ふるさと納税」をやっている方がいらっしゃると思いますがこれが良いとか悪いとか言うつもりはなく、返礼品目的の寄付では日本の寄付文化を育てるという意味ではどうかと私は疑問に思っています。

日本には「寄付」と似て非なるものもあります。日本には元々「布施」という文化がありました。田口和尚がお花見例会の時にうちの犬には「ふせ」を「お布施」と教えているという冗談をよく言っていますが、あの「布施」です。雲水の托鉢です。

托鉢は決して街頭や駅前立って道行く人に「布施」をお願いすることもなければ、戸別訪問で玄関を開けることもないのです。また、布施してくださった人に「感謝」はしても「お礼」は言いません。もし「お願い」をしたり「お礼」を言ってしまったらそれは「寄

付・募金活動」になってしまい「托鉢」ではなくなるからです。

托鉢は、本来布施をする人にとっては自分の「浄財」を手放す、執着を断つ、「財施」をすることで功德を積むことになり、一方、布施を受取る僧侶にとっては「法施（仏法を施す）」の実践の場となるのです。極めて宗教的な活動の一環です。日本にはもともと「お布施」という文化がありますが、これは「寄付」とは違う意味合いです。

私とロータリー財団の関わりについてお話したいと思います。

私は 1998 年（H10 年 46 歳）3 月 5 日に入会いたしました。その時の会長は林さんでした。その当時から財団への寄付に対しては常に次の三つがあったと思います。

- ①財団への寄付は強制ではないからと言って寄付をしない人。
- ②任意だけれども財団に寄付して頂戴とお願いされたから仕方なく寄付をする人。
- ③自主的に寄付をする人

私も当初、財団への寄付はお金を持って余した金持ちがやれば良いぐらいに思っていました。私が結婚して最初の子どもが出来たのが 36 歳の時で、自分の子どもを育てるのに目いっぱい人様の子どものために「寄付」をするという考えは全然ありませんでした。また、そのあたりは事業用設備資金借入れや住宅ローン借入れの返済等で「寄付」どころではなかったという現実もあって、ロータリー財団への寄付は私には関係ないと思っていました。

私が最初に財団に寄付したのは、2004 年（H16 年 53 歳）12 月で 100 ドル寄付しました。大澤さんが会長の年度で、きっかけは南 RC の不文律で幹事をやった翌年度はロータリー財団委員長をやるという不文律の掬みたいものがあって、私も財団の委員長になったので、人に財団への寄付を頼むからには自分も寄付しなければお願いできないなということもあって取り敢えず 100 ドル寄付しようと思い、当時の事務局の荒木田さんの所に 100 ドル持って行ったら、年次基金ですか恒久基金ですかと聞かれました。当時私は財団の事が全然分かっていなくて「えっ、それなんですか」という話になりました。若い方の中には「年次基金」と「恒久基金」の違いが分からない方もいらっしゃるかと思いますので、念のために説明いたします。

年次基金というのは財団の「Every Rotarian, every Year」の取組を通じて寄せられる寄付で RC や地区が、地元で奉仕プロジェクトや奨学金に活用される他、国際的な奉仕活動（グローバル補助金等）に活用されます。

恒久基金はロータリーの活動を末永く支えるための基金で基金の投資収益の使用可能な部分は年次基金を補足しロータリーの優先項目を恒久的に支援するもので、私たちの寄付は取り崩さないで運用益だけを寄付に回すというものです。

R 財団の認証に「財団の友」年次基金に 100 ドル以上寄付された個人というのがあり、この年 100 ドル寄付したので「財団の友」となりました。

2007 年（H19 年 56 歳）クラブ会長をやったときに 1,000 ドル寄付しました。皆さんは「天の声」を聞いたことがありますか、私は聞いたことはありませんが「悪魔のささやき」を聞いたことはあります。物の本によると「天の声」は上の方から聞こえ「悪魔のささやき」は下の方から聞こえるようで、愛想よく忍び寄ってきます。私に聞こえてきたのは天の声ならぬ、悪魔のささやきで「会長になったら 1,000 ドル寄付しなければいけない」というものでした。皆さんも会長をやられたときに「悪魔のささやき」をささやかれた人もいると思います。愛想よく寄ってきたら皆さんも気をつけてください。

R 財団の認証に「PHF（ポール・ハリス・フェロー）年次基金に累計 1,000 ドル以上寄付した個人というものがあり 1,000 ドル寄付したので PHF になりました。

2009 年 7 月八戸 RC から村井ガバナーが出たことで、私が八戸 RC へのレンタルでガバナー補佐をやり、当時の八戸 RC 会長兼地区財団委員長の富岡氏とのご縁ができました。

2010 年 7 月（H22 年 59 歳）から地区ロータリー財団監査委員を 3 年間やらせていただきました。野澤会長年度でしたが、「未来の夢計画パイロット地区」として日本から 3 地区選ばれ、その中に 2830 地区が選定されました。

この時アドバイザーの島村 PG に無理やり勧誘されて（自分でも嫌でなかったから承諾）PHS（ポール・ハリス・ソサエティ）毎年 1,000 ドル以上寄付を宣言しました。これは自分との約束でも有るので毎年 1,000 ドル以上寄付するようにしています。

2013 年 1 月（62 歳）「未来の夢計画」実施のため、日本全国 34 地区のロータリー財団委員長がサンディエゴの国際協議会で財団のセッションに参加しました。北山 GE と同時期です。

2013 年 7 月（63 歳）から地区のロータリー財団委員長を 3 年間やりました。小原会長年度です。グローバル補助金プログラムでタイでの浄水器寄贈式典・浄水器設置視察に何年か参加させて頂きました。タイでは汚ない水を飲んで子どもたちが疫病に罹り死ぬ子どもたちが多いのですが、きれいな水が飲めればそういう子たちが助かるということで浄水器を贈るというグローバル補助金事業に参加し、実際現地を視察して財団は凄く良いことをしていると実感し、感動しながら帰って来ました。

2016 年 7 月（65 歳）この年ガバナーをやらせていただきました。吉田立盛会長年度です。

財団への寄付はそれぞれの考え方があって良いと思います。する人、しない人、それぞれの人生観とか価値観とか、そういったものは違うわけですから尊重したいと思いますが、余裕があってできる方は出来れば財団への寄付をした方が良いのではと私自身は思っています。

私の大好きな言葉がありまして、後藤新平（水沢出身、台湾民政長官、満鉄初代長官、逓信・内務・外務大臣、ボーイスカウト日本連盟初代総長）という英傑の言葉です。岩手には結構英傑と呼ばれる方がいて、暗殺された原敬とかもそうですが、後藤が

倒れる日に残した言葉に「よく聞け、金を残して死ぬ者は下だ。仕事を残して死ぬ者は中だ。人を残して死ぬ者は上だ。よく覚えておけ」というのがあります。自分の子どものためにお金を残すのもよいでしょう、しかしそれは下だよ、自分の仕事を残して死ぬのは中だよ、一番良いのは人を育てて人を残していくのが上だよと、こういう生き方を最後に後藤新平が残したそうで、私はこの言葉が大好きです。

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである。(ロータリー財団章典 10.020.)

皆さんは自覚していないかもしれませんが八戸南ロータリークラブ定款第 3 条にクラブの目的というものがあります。その中に本クラブの目的は、次の通りである。d) ロータリー財団を支援すること という一文があります。ですからロータリー財団を支援することが、私たち八戸南ロータリークラブの目的でもあるのです。

私も地区財団委員長やガバナーをやらせてもらい、地区補助金の奉仕活動の状況等を見たり、グローバル補助金プログラムでタイに行って視察したりしながら、1 人で出来る奉仕、寄付というのは限界があると思いました。いくらやっても個人個人で出来ることはたかが知れています。しかしロータリー財団として多くの力を結集すれば世界を変えるぐらい大きな奉仕活動ができるということを学びました。

自分一人の寄付は 100 ドルでも世界 120 万人のロータリアンが力を合わせれば 2019-20 年度実績で 2 億 3000 万ドル (日本円で 260 億円) 集まりました。我々も 2011 年 3 月 11 日東日本大震災の時、世界の人々から助けられました。その恩返しの為に私の 100 ドルで世界の人々に恩返しができるのなら今、私に出来ることをしたいと思います。

ロータリークラブは奉仕することが好きな人の集まりのはずです。ロータリー財団への寄付は皆さんの人生観・価値観の問題だと思いますが、奉仕は無財の七施という財産が無くても七つの奉仕ができるという仏法の教えがあります。お金がなければ身体で奉仕する、お金があったら寄付で奉仕する、奉仕のやり方は幾らでも有ると思います。我々ロータリアンは奉仕することが好きな人間の集まりですから、無罪の七施でもよし、身体で奉仕するのもよし、お金で奉仕するのもよし、というように色々なことで奉仕するのが好きな人が集まっているのがロータリークラブではないでしょうか。

自分の人生や心を豊かにするために奉仕するのではない、(自分の為にやるんじゃないんです)、(見返りを求めず) 無心に奉仕していたら、周りの人々や世界の人々の人生や心が豊かに輝いていた、そんなロータリアンに私はなりたいと思います。

どうでしょうか? 皆さんも一緒に、そんなロータリアン像を目指してみませんか?